

科目名	手形小切手法	科目分類	■専門科目群 □総合科目群	
			法律学科	□必修 ■選択
			国際観光学科	□必修 ■選択
英文表記	Bills and Notes Law	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
ふりがな	みちはた ただよし	実務家教員担当科目	修得単位	4単位
担当者名	道端 忠孝	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	支払いを約束して振り出す約束手形、支払いを委託して振り出す為替手形・小切手の違いを修得し、手形には支払を繰り延べる経済的機能があり、商売を行う上で必要不可欠であるのに対し、小切手は、自分の預金口座から支払ってもらう単なる支払い手段にすぎない点を修得し、手形・小切手の振出・裏書・保証・支払などの基本を修得して、手形・小切手の問題点を考えることができるようになる。			
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を習得できます。 1、約束手形・為替手形・小切手の振出・裏書の基本を理解できる。 2、企業への就職後に手形や小切手の授受に関して必要な最低限の知識が身に付く。 3、ビジネス実務法務検定や司法試験などに必要な基本的理解ができる。			
授業概要	手形は支払を繰り延べる経済的機能があり、商売を行う上で必要不可欠であるのに対し、小切手は、自分の預金口座から支払ってもらう支払い手段として利用され、手形・小切手制度は経済社会において必要不可欠の制度であることを前提に、手形・小切手の利用の仕方、特に、振出・裏書・保証・支払などに関する基本を講義します。また、手形小切手に関する種々の法的諸問題に留意しつつ講義します。			
授業計画				
第1回	ガイダンス、手形小切手とは	第17回	手形の変造	
第2回	手形・小切手の法的異同	第18回	約束手形の振出	
第3回	手形・小切手の経済的機能	第19回	振出人と受取人の関係	
第4回	手形・小切手の法源	第20回	手形要件	
第5回	手形・小切手と銀行取引	第21回	白地手形①（白地手形の意義・要件）	
第6回	手形・小切手の有価証券性	第22回	白地手形②（白地手形の効力）	
第7回	有価証券としての手形・小切手の特質	第23回	裏書の意義・種類	
第8回	手形行為の意義と特性	第24回	譲渡裏書①（譲渡裏書の意義と態様など）	
第9回	手形作成行為	第25回	譲渡裏書②（譲渡裏書の効力）	
第10回	手形交付行為	第26回	その他の裏書・保証	
第11回	手形・小切手と意思表示	第27回	支払・遡求	
第12回	代理方式の手形行為	第28回	手形の権利の消滅	
第13回	代行方式の手形行為	第29回	為替手形の特色	
第14回	手形の無権代理	第30回	小切手の特色	
第15回	手形の偽造	第31回	総括（まとめと手形小切手法の課題など）	
第16回	中間試験		定期試験	
授業時間外の学習	1、授業開始前に教科書の該当箇所必ず目を通してください。分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。（1・5時間程度） 2、授業開始前に復習をし、ノート整理をしておいてください。（1・5時間程度） 3、日頃から新聞に目を通し、切り抜き又はメモをしておいてください。（0・5時間程度）			
履修条件 受講のルール	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ、民法総則を履修しておいて下さい。 テキストを購入して予習・復習をし、ノート整理をして下さい。 また、適宜資料を配布しますが、事前に連絡なく欠席した学生には原則配布しませんので、友人同士でコピーして下さい。 			

テキスト	早川徹『手形・小切手法』新世社
参考文献・資料	六法。神田秀樹他『手形小切手判例百選第7版』有斐閣、丸山秀平『事例で学ぶ判例手形・小切手法』法学書院。その他は、必要に応じて講義時に紹介します。
成績評価の方法	<p>【小テスト・レポート(30%)、定期試験(70%)】以上の項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解および予習復習が十分であるか確認するため、授業中に何回か小テストを行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板（ポータルサイト含む）で指示します。
オフィスアワー	毎週火曜日・金曜日 14:30～16:30
成績評価の基準	秀 (100～90点)、優 (89～80点)、良 (79～70点)、可 (69～60点)、不可 (59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に役立つように、手形・小切手を振り出したり、受け取ることができるようになります。 ・また、ビジネス実務法務検定などにチャレンジしてみよう。